



LED電源ユニット取扱説明書

保管用

(一般屋内用・別置形)

製品概要

品名	TG-348
電源電圧	AC100V
電源周波数	50/60Hz
入力電流	80-106mA
入力電力	4.4W-7.7W
二次電圧	10.8V
重量	0.2kg

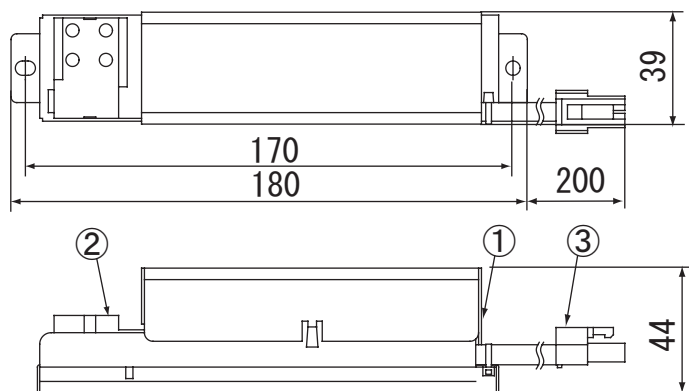
適合ランプ

GU5.3 MASTER LED SPOT MR16 (PHILIPS製)

7W×1灯

4W×1灯

各部の名称

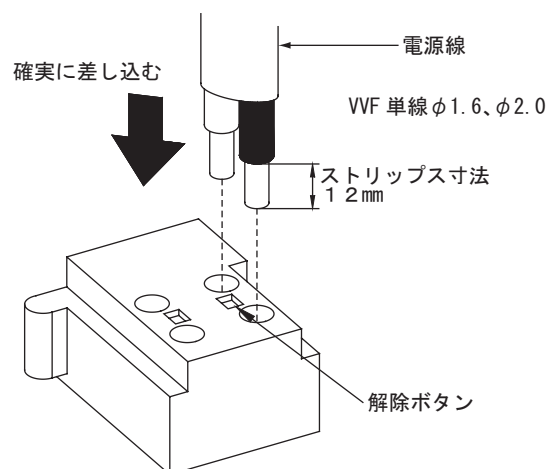


No.	名称
①	LED電源ユニット
②	電源用端子台
③	接続コネクタ

付属品

- 取扱説明書（本書）
- 保障とアフターサービス

接続図



取付方法

1. 取付前の確認

- 電子トランスの重量（0.2kg）に十分耐えられるよう取付部の強度を確保してください。
- 器具の埋込穴から電子トランスを挿入する場合、天井深さは下記の寸法が必要になりますので、ご注意ください。

埋めこみ穴	天井厚さ	天井深さ
φ60	25mmの場合	140mm以上
φ75		125mm以上

- 電源元が通電されていないことを確認ください。
- 器具埋込穴から電源線を引き出す
- 電源線を端子台の電源線差し込み穴に接続する。
 - 電源線は差し込み穴に確実に差し込んでください。
 - 挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
 - 端子台の送り容量は15Aです。
 - ★接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、漏電・火災の原因になります。
- 天井内で横転・逆転しない様に設置する
 - 木ネジ等で電子トランスを固定してください。
 - ★設置が不完全な場合、故障や火災の原因となります。
 - 灯具とLED電源ユニットの距離は100mm以上離してください。
 - 音響セットやアンテナ、アース線とできるだけ（1m以上）離して下さい。
- 電子トランス側接続コネクタを器具側接続コネクタに確実に差し込み接続する。
 - ★接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 通電し点灯することを確認してください。

使用上の注意

- 周囲温度 -10 ~ 5 0℃、周囲湿度 85 %以下でご使用ください。LED 電源ユニットの故障の原因となります。
- LED 電源ユニットを2台以上並べて設置する場合、相互の熱の影響を受けますので、LED 電源ユニットの幅以上の間隔をあけて風通しに注意してください。
- LED 電源ユニットを箱の中に収納する場合には、容積を十分大きくとってください。また、換気をしてLED 電源ユニットが過熱しないように注意してください。
- 照明器具などの熱の影響を受けないように設置してください。
- HID などの高圧パルスが発生する機器と同一電源での使用はおやめください。サージが回り込み故障の原因となります。
- 適合ランプ以外は絶対に使用しないでください。(過熱、焼損の原因となります。)
- 電源配線は端子台のストリップゲージに合わせて適切な寸法で被覆をはぎ取り、線芯を平行に揃えて端子台の挿入口に最後まで押し込んでください。
- 電源線と二次側線は近接して配線しないでください。
- ランプ交換や保守点検の際は必ず電源を切って行ってください。電源を入れた状態で、接続コネクタの抜き差しを行うとLED が破損する場合があります。
- LED 電源ユニットの改造や、部品の追加は絶対にしないでください。
- この LED 電源ユニットは調光できません。

⚠ 調光不可

⊘ 通電状態での作業禁止

⊘ LED の直列接続禁止

⊘ 断熱材使用禁止

図記号の意味は次の通りです。

⊘ 禁止

❗ 厳守

⚠ 注意

施工上の注意

- この器具は屋内用です。それ以外の所（屋外、屋側）では使用しないでください。
- 製品の取付につきましては、電気工事業者様にご依頼ください。(一般の方の工事は法律で禁止されています。)
- 電源電圧 (±6 %以内)、周波数を確認の上、正しくご使用ください。(本体の故障、異常、焼損の原因となります。)
- 電線を接続する場合、ゆるみ・抜けのないように、確実に接続してください。接続部の焼損や、火災等の原因になります。
- 屋内配線を外す場合は、必ず電源を切り、端子台の解除ボタンをドライバー等で押して電線を引き抜いてください。
- 電線の絶縁体に刃物などによる傷を付けないようにご注意ください。(絶縁破壊により感電、火災の原因となります。)
- 振動、衝撃や粉じん・腐食性可燃ガスの影響を受ける場所には使用できません。(ランプの短寿命、本体の故障、落下の原因となります。)
- スプリンクラーなどの防災設備に本体やランプの熱が影響しないように施工してください。(防災設備に悪影響を与えることがあります。)
- 通電状態での工事はしないでください。(感電、本体の故障の原因となります。)
- 本体取付部分以外の本体外郭を天井内の造営材やダクトなどの設備に接触させないでください。(火災、本体の過熱、焼損、漏電の原因となります。)
- 高温、高湿の場所や、水のかかる場所には設置しないでください。(過熱、焼損、感電、漏電の原因となります。)
- 本体の取付は、ビス等で固定し、取付面が弱い場所は、補強材等にて確実に固定してください。(本体が落下する恐れがあります。)
- 本製品は天井裏や器具内等など一般の人の手に触れない場所に設置し、固定配線を行ってください。
- 住宅の断熱材施工天井には使用できません。
- 断熱材・防音材を器具に被せないでください。